

2025年9月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）



2025年2月14日

上場会社名 BBDイニシアティブ株式会社 上場取引所 東
コード番号 5259 URL https://bbdi.co.jp
代表者（役職名） 代表取締役社長 グループCEO（氏名） 稲葉雄一
問合せ先責任者（役職名） 取締役 グループCFO（氏名） 佐藤幸恵（TEL）03-5405-8120
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）
(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の連結業績（2024年10月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	1,097	13.3	78	39.1	72	38.3	41	61.8	41	61.8	41	61.8
2024年9月期第1四半期	969	—	56	—	52	—	25	—	25	—	25	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2025年9月期第1四半期	円 銭 7.65	円 銭 —
2024年9月期第1四半期	円 銭 4.90	円 銭 —

(注)2024年9月期第1四半期及び2025年9月期第1四半期の希薄化後1株当たり四半期利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
2025年9月期第1四半期	百万円 4,090	百万円 1,763	百万円 1,763	% 43.1
2024年9月期	4,133	1,280	1,280	31.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 7.00	円 銭 7.00
2025年9月期	—	—	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(％表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属 する当期利益		基本的1株当たり当期 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	13.9	355	24.3	215	30.5	40.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注)詳細は、添付資料P.11「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年9月期1Q	5,759,221株	2024年9月期	5,276,221株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年9月期1Q	296株	2024年9月期	233株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年9月期1Q	5,471,095株	2024年9月期1Q	5,276,021株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnet及び当社ウェブサイトに同日開示しています。また、2025年2月17日(月)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日説明する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(要約四半期連結損益計算書)	7
(要約四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年10月1日～2024年12月31日)における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、自然災害や急激な円安による個人消費の抑制傾向がみられるものの、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、世界情勢の緊迫化、各国の政権政策の転換による金融資本市場や経済活動への影響等、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、中堅・中小企業においてもテレワークが定着し、デジタルトランスフォーメーション(DX)への機運は依然として高く、企業のIT投資、人的資本投資、M&A投資、研究開発投資等に意欲的となっています。

さらに、高度な対話型生成AIである「Chat GPT」をはじめとする大規模言語モデルによる技術革新は、労働集約的業務・単純作業の自動化にとどまらず、あらゆるサービスにAIを活用したソリューション、AIエージェントが組み込まれていくと見込まれています。

また、社会的課題である生産労働人口の減少に伴うIT人材不足は深刻化の一途を辿っており、IT人材の採用困難性は増しています。

このような状況下、企業のIT投資は省力化と生産性向上への投資が加速すると予想され、IT資本と労働の代替が適切に進展しない場合は成長の制約となってしまうと考えられます。

当社は引き続きDXによる企業活動支援を積極的に推進し、中堅・中小企業のDXを支援するための4つのクロスステック「セールステック」、「マーテック」、「ディープテック」、「タレントテック」を中心に経営資源を絞り、事業の選択と集中に取り組んでまいりました。

具体的には、主力事業であるDX事業セグメントにおいて、次世代型「Knowledge Suite」の提供を開始し、生成AI機能の実装により、顧客の営業活動の効率化と利便性向上を実現いたしました。これにより、新規顧客の獲得および既存顧客へのクロスセルが進展し、売上の増加に寄与しております。

また、BPO事業セグメントにおいても、IT人材の確保と教育を強化し、高単価かつ高採算のプロジェクト案件の獲得に成功いたしました。これにより、当該セグメントの売上は順調に達成しております。

さらに、営業利益率の向上を最優先事項として取り組んでおり、営業利益率7.6%の計画に対し、当第1四半期では年度計画の達成に向けて順調に成果を上げております。今後も営業利益率10%の目標達成に向けて、引き続き業務効率化やコスト管理の徹底を図ってまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は順調に推移しており、通期業績予想の達成に向けて順調なスタートを切ることができ、売上収益は1,097,847千円(前年同期比13.3%増)、営業利益は78,671千円(前年同期比39.1%増)、税引前四半期利益は72,945千円(前年同期比38.3%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は41,852千円(前年同期比61.8%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① DX事業

当第1四半期連結累計期間においては、「Knowledge Suite」と高い相乗効果を発揮するBtoB営業リスト作成サービス「Papattoクラウド」等、グループ会社及び提携先パートナーによるRPAサービス等の同時提案やクロスセルといった取り組みを推進し、「ビジネスブースト」の利用企業拡大、「インサイドセールス支援」の案件拡大が進み始めたことで、SaaS売上収益は前年同期比5.0%増、グループSaaSARR(※1)は1,605百万円となりました。

これらの結果、売上収益は534,649千円(前年同期比7.7%増)、セグメント利益は133,206千円(前年同期比1.2%減)となりました。

※1 グループサブスクARR: 2024年12月末時点のOEMを除く当社及び当社グループが提供する全てのSaaSにおける各四半期末時点のMRRの12倍で算出。
ARRはAnnual Recurring Revenueの略。年次経常収益。
MRRはMonthly Recurring Revenue。月間経常収益。

② B P O 事 業

当第1四半期連結累計期間においては、引き続き高いIT人材需要を背景に積極的な営業活動を進め、BP（ビジネスパートナー）からのIT人材が増加し、SES売上収益は前年同期比21.4%増となりました。

これらの結果、売上収益は563,198千円（前年同期比19.1%増）、セグメント利益は74,976千円（前年同期比15.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は1,388,075千円となり、前連結会計年度末に比べ16,173千円減少しました。これは主に、現金及び現金同等物の減少5,654千円、営業債権及びその他の債権の減少22,760千円、その他の金融資産の増加22,231千円、その他の流動資産の減少9,396千円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の非流動資産は2,702,406千円となり、前連結会計年度末に比べ26,585千円減少しました。これは主に、使用権資産の減少34,176千円、無形資産の増加8,203千円によるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の資産合計は4,090,481千円となり、前連結会計年度末に比べ42,759千円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は1,576,963千円となり、前連結会計年度末に比べ340,241千円減少しました。これは主に、営業債務及びその他の債務の減少106,875千円、有利子負債の減少232,500千円によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の非流動負債は750,395千円となり、前連結会計年度末に比べ185,279千円減少しました。これは主に、有利子負債の減少159,628千円、リース負債の減少25,692千円によるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は2,327,359千円となり、前連結会計年度末に比べ525,521千円減少しました。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末の資本は1,763,122千円となり、前連結会計年度末に比べ482,761千円増加しました。これは主に、四半期利益の計上による増加41,852千円、新株の発行による増加472,367千円、剰余金の配当による減少36,931千円によるものであります。

これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末に比べ12.1ポイント増加し、43.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想は、営業利益率10%を目標に、営業活動とその周辺領域の顧客ニーズを取り込んだプロダクト・サービスを積極的にクロスセル展開し、顧客単価向上によるオーガニック成長をより一層加速させると同時に、既存事業とのシナジーを狙った営業・マーケティング領域のM&A・新規事業等の成長ドライバーによる非連続的成長を推進し、営業利益に貢献する投資を継続することで財務体質の健全化を進めてまいります。

また、深刻化する人手不足を補うべく営業・業務の自動化・自律化を促進する生成AI等の先端技術を組み込んだ次世代「Knowledge Suite（ナレッジスイート）」の市場投入を進め、人材の最適配置、人材育成、人事制度の見直しを実行することで、さらなるクロスセル拡販体制強化による顧客単価向上を推進してまいります。

以上から、連結売上収益は4,700百万円（前年同期増減額572百万円増）、営業利益355百万円（前年同期増減額69百万円増）、親会社の所有者に帰属する当期利益215百万円（前年同期増減額50百万円増）としております。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

注記	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	743,079	737,425
営業債権及びその他の債権	561,194	538,433
棚卸資産	1,775	1,579
未収法人所得税等	16,724	16,327
その他の金融資産	3,268	25,500
その他の流動資産	78,206	68,810
流動資産合計	1,404,248	1,388,075
非流動資産		
有形固定資産	45,148	45,343
使用権資産	317,848	283,672
のれん	843,893	843,893
無形資産	1,321,155	1,329,359
その他の金融資産	110,136	109,329
繰延税金資産	90,809	90,809
非流動資産合計	2,728,991	2,702,406
資産合計	4,133,240	4,090,481

(単位：千円)

注記	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	321,682	214,807
契約負債	91,881	88,218
有利子負債	1,159,132	926,632
リース負債	128,292	120,016
未払法人所得税等	24,226	35,071
その他の流動負債	191,990	192,217
流動負債合計	1,917,205	1,576,963
非流動負債		
有利子負債	711,290	551,662
リース負債	167,847	142,155
引当金	39,605	39,646
繰延税金負債	16,931	16,931
非流動負債合計	935,674	750,395
負債合計	2,852,880	2,327,359
資本		
資本金	734,016	971,154
資本剰余金	285,819	491,565
利益剰余金	258,225	300,078
自己株式	△20	△86
その他の資本の構成要素	2,319	410
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,280,360	1,763,122
資本合計	1,280,360	1,763,122
負債及び資本合計	4,133,240	4,090,481

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上収益	969,252	1,097,847
売上原価	542,730	669,836
売上総利益	426,521	428,011
販売費及び一般管理費	368,097	349,318
その他の収益	221	1,767
その他の費用	2,106	1,788
営業利益	56,538	78,671
金融収益	33	29
金融費用	3,842	5,755
税引前四半期利益	52,729	72,945
法人所得税費用	26,857	31,092
四半期利益	25,872	41,852
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	25,872	41,852
四半期利益	25,872	41,852
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	4.90	7.65
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
四半期利益		25,872	41,852
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融商品		—	—
その他の包括利益合計		—	—
四半期包括利益		25,872	41,852
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者		25,872	41,852
四半期包括利益		25,872	41,852

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2023年10月1日残高	734,016	263,661	93,498	—	132	1,091,309	1,091,309
四半期利益	—	—	25,872	—	—	25,872	25,872
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	25,872	—	—	25,872	25,872
株式報酬取引	—	5,539	—	—	—	5,539	5,539
所有者との取引額等合計	—	5,539	—	—	—	5,539	5,539
2023年12月31日残高	734,016	269,201	119,371	—	132	1,122,721	1,122,721

当第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

注記	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2024年10月1日残高	734,016	285,819	258,225	△20	2,319	1,280,360	1,280,360
四半期利益	—	—	41,852	—	—	41,852	41,852
その他の包括利益	—	—	—	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	41,852	—	—	41,852	41,852
剰余金の配当	—	△36,931	—	—	—	△36,931	△36,931
新株の発行	237,138	237,138	—	—	△1,909	472,367	472,367
自己株式の取得	—	—	—	△65	—	△65	△65
株式報酬取引	—	5,539	—	—	—	5,539	5,539
所有者との取引額等合計	237,138	205,745	—	△65	△1,909	440,908	440,908
2024年12月31日残高	971,154	491,565	300,078	△86	410	1,763,122	1,763,122

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

注記	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	52,729	72,945
減価償却費及び償却費	64,532	87,016
金融収益	△33	△29
金融費用	3,842	5,755
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,028	196
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△10,833	22,760
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	7,774	△107,117
契約負債の増減額 (△は減少)	387	△3,662
その他	△48,713	19,350
小計	68,657	97,215
利息の受取額	33	29
利息の支払額	△3,779	△8,790
法人所得税の支払額	△24,373	△20,913
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,539	67,540
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,492	△2,419
無形資産の取得による支出	△92,269	△58,469
子会社の取得による支出	△209,078	—
その他	814	△21,424
投資活動によるキャッシュ・フロー	△303,026	△82,313
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	67,502	△100,000
長期借入れによる収入	340,000	—
社債の償還及び長期借入金の返済	△76,506	△292,283
リース負債の返済による支出	△34,780	△33,968
株式の発行による収入	—	472,367
配当金の支払額	—	△36,931
自己株式の取得による支出	—	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	296,215	9,118
現金及び現金同等物の増減額	33,728	△5,654
現金及び現金同等物の期首残高	668,302	743,079
現金及び現金同等物の四半期末残高	702,030	737,425

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、経営組織の形態、製品・サービスの特性及び販売市場の類似性に基づき、複数の事業セグメントを集約した上で、「DX事業」及び「BPO事業」の2つを報告セグメントとしております。

「DX事業」は、営業活動の可視化、営業活動の自動化を目指す法人向けマルチテナント型クラウドサービスとして開発した統合型営業・マーケティング支援SaaSの開発・販売及び顧客企業のカスタマーサクセスへ導く導入支援サービス、AIを活用したインサイドセール支援サービス、タレント広告体験サービス、マーケティングデータサービスを提供することで、中堅・中小企業のDXを支援する事業を展開しております。

「BPO事業」は、主に企業のマーケティング課題・システム課題を解決支援するWEBマーケティング支援、各種システムの受託開発・保守及び顧客企業へのシステムエンジニアリング（IT人材リソース）を提供するビジネスプロセスアウトソーシング事業を展開しております。

(2) 報告セグメントの収益及び業績に関する情報

報告セグメントの収益及び業績に関する情報は、次のとおりです。

前第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	D X 事業	B P O 事業	合計	調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	496,517	472,735	969,252	—	969,252
セグメント間の売上収益	885	5,431	6,316	△6,316	—
合計	497,402	478,166	975,568	△6,316	969,252
セグメント利益	134,871	65,187	200,058	△143,519	56,538
金融収益	—	—	—	—	33
金融費用	—	—	—	—	3,842
税引前四半期利益	—	—	—	—	52,729

(注) 1. セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。

2. セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。

3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	D X 事業	B P O 事業	合計	調整額	要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	534,649	563,198	1,097,847	—	1,097,847
セグメント間の売上収益	285	6,620	6,905	△6,905	—
合計	534,934	569,818	1,104,752	△6,905	1,097,847
セグメント利益	133,206	74,976	208,182	△129,511	78,671
金融収益	—	—	—	—	29
金融費用	—	—	—	—	5,755
税引前四半期利益	—	—	—	—	72,945

(注) 1. セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。

2. セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。

3. セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

当社が2024年4月12日に発行した第2回新株予約権について、新株予約権の行使が行われております。2025年1月1日から2025年1月31日までの新株予約権の行使の概要は以下のとおりであります。

- | | |
|--------------------|---------------|
| (1) 行使された新株予約権の個数 | 2770個 |
| (2) 発行した株式の種類及び株式数 | 普通株式 277,000株 |
| (3) 資本金の増加額 | 157,583千円 |
| (4) 資本準備金の増加額 | 157,583千円 |

上記により、2025年1月31日現在の発行済株式総数は6,036,221株、資本金は1,128,738千円、資本準備金は428,237千円となっております。